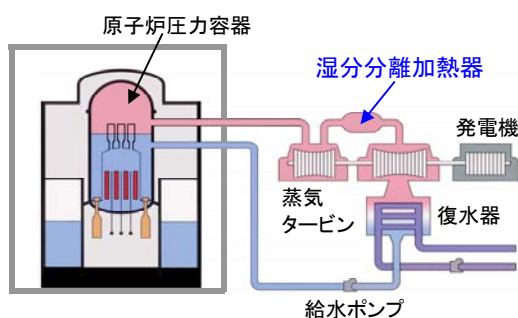
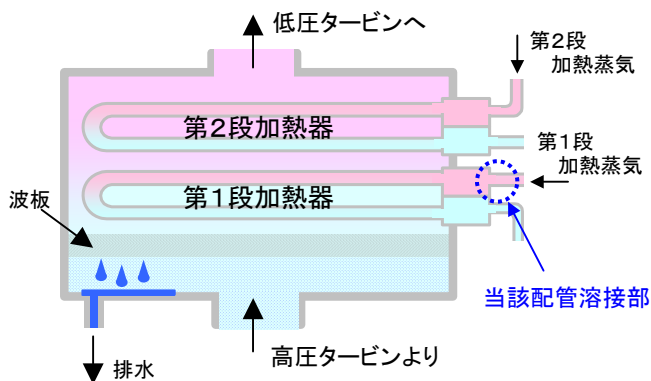


浜岡5号機 湿分分離加熱器(A)配管溶接部の熱処理データ疑義の概要



【原子力発電所の概要】



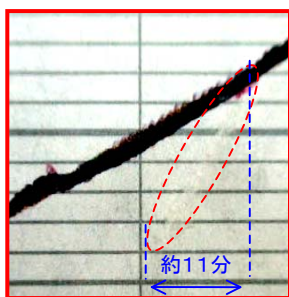
【湿分分離加熱器の概要】

【状況】

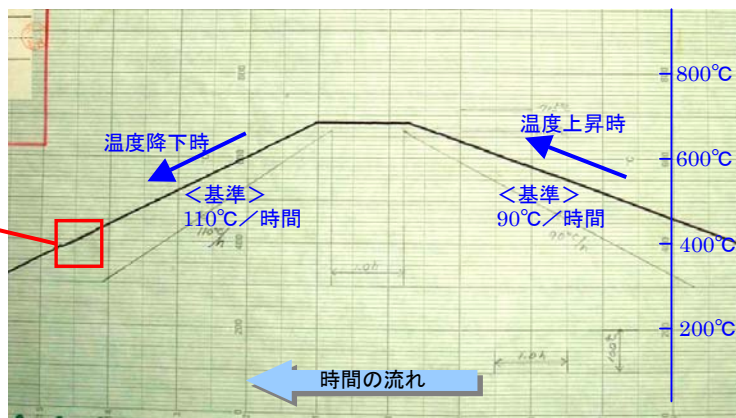
平成13年7月に、日立の工場で行われた、5号機湿分分離加熱器(A)の第1段加熱器に接続する配管溶接部の溶接後熱処理について、温度記録を確認したところ、昇温後の温度降下過程において約420℃～約370℃付近で記録に一部消されたような痕跡を確認しました。

この痕跡から、温度降下過程の一部で、基準となる冷却速度を上回る速度で温度が降下していたものと考えられます。

このため、今後、速やかに当該配管溶接部の健全性の確認を実施してまいります。

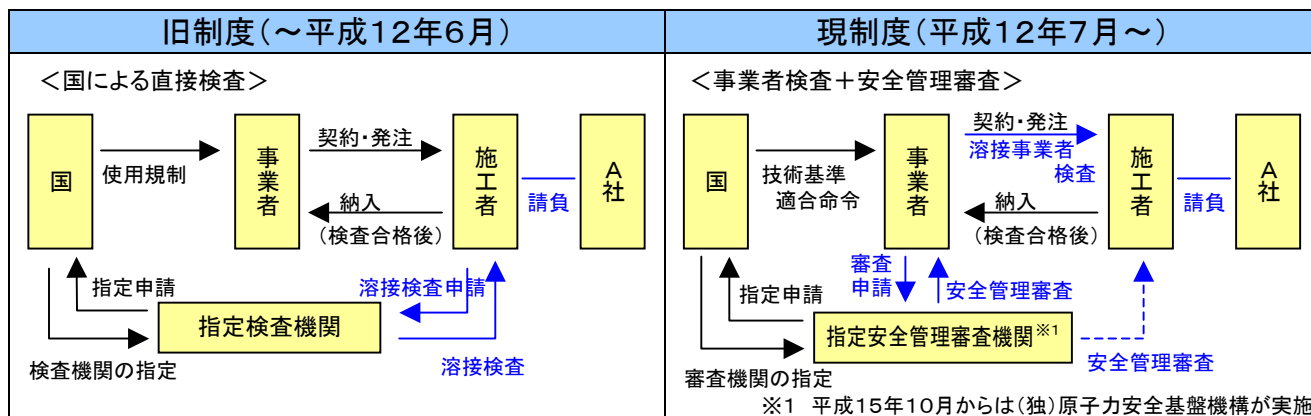


温度記録には、6箇所の温度のデータが記載されており、その内、当該配管溶接部の温度のデータが消されたような痕跡を確認しました。



【実際の温度記録】

【溶接検査の概要】



注) 溶接検査は電気事業法に則り実施されています。浜岡5号機の当該配管溶接部の溶接検査は平成13年7月に実施されましたが、申請が法改正前に行われていたため、溶接検査は旧制度体制で実施されました。